

新聞紙で防災グッズ

出前授業、市民ら挑戦

尼 崎

新聞で学ぼう



広がるNIE

「防災の日」の1日、産経新聞編集企画室の藤浦淳部長と藪内朋之記者が、兵庫県尼崎市の特別養護老人ホーム博寿苑で「防災出前授業」を行った。市民ら約30人が集まり、新聞紙を利用した防災グッズの作り方



などを学んだ。

新聞を教育現場に活用するNIEの一環。新聞に親

しんでもらうとともに、防災の知識を深めてもらおうと、防災教育の出前授業を今回初めて実施した。

藤浦部長らは新聞の過去記事や写真を用い、阪神大震災や関東大震災などの被害状況や地震発生時の身の守り方を解説。この後、市民らは藪内記者らのアドバイスを受け、新聞紙を活用した簡易スリッパやコップ作りに挑戦した。写真。

同市の主婦、南園京子さん(73)は「新聞紙でこんなに簡単に作れるなんてびっくり。(非常時に役立つグッズを詰めた)防災バッグに新聞も追加して、今後の災害に備えたい」と話した。